

【耐震性能診断表】 X方向 正加力時 2次診断

Table with columns: 階, Fu, C, F, 破壊形式, Eo, SD, Is, CTu-SD (Nr-N), 判定. Contains data for floors 1, 2, 3, 4 with various load levels and failure modes.

CB : 曲げ柱 CS : セン断柱 CSS : 極端性柱
CWB : 曲げ軸壁付柱 CWS : セン断軸壁付柱 CWS : 極端性軸壁付柱
WCB : 曲げ柱型付壁 WCS : セン断柱型付壁
WB : 曲げ壁 WS : セン断壁

※ C指標の()内は、"CT"と"CTu"の計算に使用するC指標値を示す。

※ (Nr-N)欄の()内は、"残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
また、このような柱が存在する欄のIsやCTu-SDは参考値であり、第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

** 終了時メッセージ **

《直接入力に対するメッセージ》

- ・経年指標 T値が直接入力されています。
- ・直接入力された鉄筋の降伏点強度を採用します。
- ・符号ごとに入力された鉄筋種別を採用します。

《診断基準に記載されていない内容に対するメッセージ》

・該当するメッセージはありません。

《評価適用外に対するメッセージ》に該当する結果については参考値となります。

- ・Fesより求める場合で、"雑壁を考慮しない"または"雑壁の有無の不利な方を採用する"を指定しています。

* 参照する出力箇所 *

【経年指標】
【標準使用材料】または【使用材料】
【柱リスト】 【梁リスト】 【壁リスト】

* 参照する出力箇所 *

* 参照する出力箇所 *

【形状指標】

** X方向 正加力時 2次診断 正常に終了しました。 **

現況

【耐震性能診断表】 X方向 正加力時 2次診断

Table with columns: 階, Fu, C, F, 破壊形式, Eo, SD, Is, CTu-SD (Nr-N), 判定. Contains data for floors 1, 2, 3, 4 with various load levels and failure modes.

CB : 曲げ柱 CS : セン断柱 CSS : 極端性柱
CWB : 曲げ軸壁付柱 CWS : セン断軸壁付柱 CWS : 極端性軸壁付柱
WCB : 曲げ柱型付壁 WCS : セン断柱型付壁
WB : 曲げ壁 WS : セン断壁

※ C指標の()内は、"CT"と"CTu"の計算に使用するC指標値を示す。

※ (Nr-N)欄の()内は、"残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
また、このような柱が存在する欄のIsやCTu-SDは参考値であり、第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

** 終了時メッセージ **

《直接入力に対するメッセージ》

- ・経年指標 T値が直接入力されています。
- ・曲げ終局強度、セン断終局強度または内蔵鉄骨の低減を直接入力している部材が存在します。
- ・直接入力された鉄筋の降伏点強度を採用します。
- ・符号ごとに入力された鉄筋種別を採用します。

《診断基準に記載されていない内容に対するメッセージ》

・該当するメッセージはありません。

《評価適用外に対するメッセージ》に該当する結果については参考値となります。

- ・Fesより求める場合で、"雑壁を考慮しない"または"雑壁の有無の不利な方を採用する"を指定しています。

* 参照する出力箇所 *

【経年指標】
【終局強度の直接入力】
【標準使用材料】または【使用材料】
【柱リスト】 【梁リスト】 【壁リスト】

* 参照する出力箇所 *

* 参照する出力箇所 *

【形状指標】

** X方向 正加力時 2次診断 正常に終了しました。 **

補強後

【耐震性能診断表】 X方向 負加力時 2次診断

Table with columns: 階, Fu, C, F, 破壊形式, Eo, SD, Is, CTu-SD (Nr-N), 判定. Rows include 4, 3, 2, 1 levels with (5)式 and (4)式 load cases.

CB: 曲げ柱 CS: せん断柱 CSS: 極端性柱
CWB: 曲げ軸壁付柱 CWS: せん断軸壁付柱 CWS: 極端性軸壁付柱
WCB: 曲げ柱型付壁 WCS: せん断柱型付壁
WB: 曲げ壁 WS: せん断壁

※ C指標の()内は、"CT"と"CTu"の計算に使用するC指標値を示す。
※ (Nr-N)欄の()内は、"残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
また、このような柱が存在する欄のIsやCTu-SDは参考値であり、第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

** 終了時メッセージ **

《直接入力に対するメッセージ》

- ・経年指標 T値が直接入力されています。
- ・直接入力された鉄筋の降伏点強度を採用します。
- ・符号ごとに入力された鉄筋種別を採用します。

《診断基準に記載されていない内容に対するメッセージ》

・該当するメッセージはありません。

《評価適用外に対するメッセージ》に該当する結果については参考値となります。

・Fesより求める場合で、"雑壁を考慮しない"または"雑壁の有無の不利な方を採用する"を指定しています。

※ 参照する出力箇所 *

【経年指標】
【標準使用材料】または【使用材料】
【柱リスト】 【梁リスト】 【壁リスト】

※ 参照する出力箇所 *

※ 参照する出力箇所 *

【形状指標】

** X方向 負加力時 2次診断 正常に終了しました。 **

現況

【耐震性能診断表】 X方向 負加力時 2次診断

Table with columns: 階, Fu, C, F, 破壊形式, Eo, SD, Is, CTu-SD (Nr-N), 判定. Rows include 4, 3, 2, 1 levels with (5)式 and (4)式 load cases.

CB: 曲げ柱 CS: せん断柱 CSS: 極端性柱
CWB: 曲げ軸壁付柱 CWS: せん断軸壁付柱 CWS: 極端性軸壁付柱
WCB: 曲げ柱型付壁 WCS: せん断柱型付壁
WB: 曲げ壁 WS: せん断壁

※ C指標の()内は、"CT"と"CTu"の計算に使用するC指標値を示す。
※ (Nr-N)欄の()内は、"残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
また、このような柱が存在する欄のIsやCTu-SDは参考値であり、第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

** 終了時メッセージ **

《直接入力に対するメッセージ》

- ・経年指標 T値が直接入力されています。
- ・曲げ終局強度、せん断終局強度または内蔵鉄骨の低減を直接入力している部材が存在します。
- ・直接入力された鉄筋の降伏点強度を採用します。
- ・符号ごとに入力された鉄筋種別を採用します。

《診断基準に記載されていない内容に対するメッセージ》

・該当するメッセージはありません。

《評価適用外に対するメッセージ》に該当する結果については参考値となります。

・Fesより求める場合で、"雑壁を考慮しない"または"雑壁の有無の不利な方を採用する"を指定しています。

※ 参照する出力箇所 *

【経年指標】
【終局強度の直接入力】
【標準使用材料】または【使用材料】
【柱リスト】 【梁リスト】 【壁リスト】

※ 参照する出力箇所 *

※ 参照する出力箇所 *

【形状指標】

** X方向 負加力時 2次診断 正常に終了しました。 **

補強後

【耐震性能診断表】 Y方向 正加力時 2次診断

Table with columns: 階, Fu, C, F, 破壊形式, Eo, SD, Is, CTu-SD (Nr-N), 判定. Contains data for floors 1, 2, 3, 4 with various load levels and structural details.

CB : 曲げ柱 CS : せん断柱 CSS : 極端性柱
CWB : 曲げ軸壁付柱 CWS : せん断軸壁付柱 CWS : 極端性軸壁付柱
WCB : 曲げ柱型付壁 WCS : せん断柱型付壁
WB : 曲げ壁 WS : せん断壁

※ C指標の()内は、"CT" と"CTu"の計算に使用するC指標値を示す。

※ (Nr-N)欄の()内は、"残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
また、このような柱が存在する欄のIsやCTu-SDは参考値であり、第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

現況

【耐震性能診断表】 Y方向 正加力時 2次診断

Table with columns: 階, Fu, C, F, 破壊形式, Eo, SD, Is, CTu-SD (Nr-N), 判定. Contains data for floors 1, 2, 3, 4 with various load levels and structural details.

CB : 曲げ柱 CS : せん断柱 CSS : 極端性柱
CWB : 曲げ軸壁付柱 CWS : せん断軸壁付柱 CWS : 極端性軸壁付柱
WCB : 曲げ柱型付壁 WCS : せん断柱型付壁
WB : 曲げ壁 WS : せん断壁

※ C指標の()内は、"CT" と"CTu"の計算に使用するC指標値を示す。

※ (Nr-N)欄の()内は、"残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
また、このような柱が存在する欄のIsやCTu-SDは参考値であり、第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

補強後

【耐震性能診断表】 Y方向 負加力時 2次診断

建物名: 兵庫県商工会連合会会館 耐震補強工事		建設年月日: 昭和42年									
方向: Y方向 負加力		診断者: 楠田一級建築設計事務所									
診断年月日: 2016/10		診断者: 楠田一級建築設計事務所									
診断次数: 2次		経年指標 T = 0.95 構造耐震判定指標 I _{so} = E _s · Z · G · U = 0.60 * 1.00 * 1.00 * 1.00 = 0.600									
階	Fu	C	F	破壊形式	E _o	SD	I _s	C _{Tu} -SD (N _r -N)	判定		
4	(5)式	1.00	(1.14)	1.00	CB, WCB	0.763	0.95	0.688	0.72 (0)		
		1.50	(0.78)	1.50	CB, WCB	0.787		0.711	0.49 (3)		
		1.75	(0.41)	1.75	CB	0.483		0.436	0.26 (4)		
		2.25	(0.19)	2.25	CB	0.293		0.265	0.12 (6)		
		2.25	(0.19)	2.25	CB	0.293		0.265	0.12 (6)		
	(4)式	1.50	0.47 (0.78)	1.00 1.50	CB CB, WCB	0.848		0.765	0.49 (3)		
		1.75	0.84 (0.41)	1.00 1.75	CB, WCB CB	0.743		0.670	0.26 (4)		
		2.25	0.47 0.59 (0.19)	1.00 1.50 2.25	CB CB, WCB CB	0.732		0.660	0.12 (6)		
		3	(5)式	1.00	(1.12)	1.00	CB, CS, WS, WCB	0.884	0.63	0.529	0.55 (0)
				1.50	(0.43)	1.50	CB, WCB	0.511		0.306	0.21 (1)
				1.75	(0.16)	1.75	CB	0.221		0.132	0.07 (3)
			(4)式	2.60	(0.09)	2.60	CB	0.202		0.121	0.04 (4)
2	(5)式	1.00	(0.50)	1.00	CB, CS, WCB	0.450	0.63	0.269	0.28 (0)		
		1.27	(0.33)	1.27	CB, WCB	0.376		0.225	0.18 (1)		
		1.50	(0.21)	1.50	CB, WCB	0.288		0.172	0.12 (5)		
	(4)式	2.25	(0.08)	2.25	CB	0.170		0.101	0.04 (6)		
1	(5)式	1.00	(0.61)	1.00	CB, CS, WS	0.615	0.63	0.368	0.38 (0)		
		1.10	(0.08)	1.10	CB	0.092		0.055	0.05 (4)		
		1.10	0.54 (0.08)	1.00 1.10	CS, WS CB	0.550		0.329	0.05 (4)		
	(4)式	1.10	0.54 (0.08)	1.00 1.10	CS, WS CB	0.550		0.329	0.05 (4)		

CB : 曲げ柱 CS : せん断柱 CSS : 極端性柱
 CWB : 曲げ軸壁付柱 CWS : せん断軸壁付柱 CWSS : 極端性軸壁付柱
 WCB : 曲げ柱型付壁 WCS : せん断柱型付壁
 WB : 曲げ壁 WS : せん断壁

※ C指標の()内は, "CT" と "CTu" の計算に使用するC指標値を示す。

※ (N_r-N)欄の()内は, "残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
 また, このような柱が存在する欄のI_sやC_{Tu}-SDは参考値であり, 第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

現況

【耐震性能診断表】 Y方向 負加力時 2次診断

建物名: 兵庫県商工会連合会会館 耐震補強工事		建設年月日: 昭和42年									
方向: Y方向 負加力		診断者: 楠田一級建築設計事務所									
診断年月日: 2016/10		診断者: 楠田一級建築設計事務所									
診断次数: 2次		経年指標 T = 0.95 構造耐震判定指標 I _{so} = E _s · Z · G · U = 0.60 * 1.00 * 1.00 * 1.00 = 0.600									
階	Fu	C	F	破壊形式	E _o	SD	I _s	C _{Tu} -SD (N _r -N)	判定		
4	(5)式	1.00	(1.14)	1.00	CB, CS, WCB	0.760	0.90	0.649	0.68 (0)		
		1.50	(0.78)	1.50	CB, WCB	0.780		0.667	0.46 (3)		
		1.75	(0.41)	1.75	CB	0.477		0.408	0.24 (4)		
		2.25	(0.19)	2.25	CB	0.287		0.245	0.11 (6)		
		2.60	(0.09)	2.60	CB	0.158		0.135	0.05 (7)		
	(4)式	1.50	0.47 (0.78)	1.00 1.50	CB CB, WCB	0.842		0.720	0.46 (3)		
		1.75	0.85 (0.41)	1.00 1.75	CB, CS, WCB CB	0.738		0.631	0.24 (4)		
		2.25	0.47 0.59 (0.19)	1.00 1.50 2.25	CB CB, WCB CB	0.727		0.622	0.11 (6)		
		2.60	0.47 0.69 (0.09)	1.00 1.50 2.60	CB CB, WCB CB	0.774		0.662	0.05 (7)		
		3	(5)式	1.00	(1.57)	1.00	CB, CS, WS, WCB	1.237	0.63	0.740	0.77 (0)
				1.50	(0.42)	1.50	CB, WCB	0.501		0.300	0.21 (1)
				1.75	(0.15)	1.75	CB	0.213		0.127	0.07 (3)
(4)式	2.60		(0.09)	2.60	CB	0.189		0.113	0.04 (4)		
2	(5)式	1.00	(0.94)	1.00	CB, CS, WS, WCB	0.839	0.95	0.757	0.79 (0)		
		1.27	(0.32)	1.27	CB, WCB	0.365		0.329	0.27 (1)		
		1.50	(0.20)	1.50	CB, WCB	0.276		0.249	0.17 (3)		
	(4)式	2.60	(0.07)	2.60	CB	0.181		0.164	0.06 (4)		
1	(5)式	1.00	(0.67)	1.00	CB, CS, WS	0.702		0.634	0.27 (1)		
		1.50	0.75 (0.20)	1.00 1.50	CB, CS, WS CB, WCB	0.729		0.657	0.17 (3)		
		2.60	0.88 (0.07)	1.00 2.60	CB, CS, WS, WCB CB	0.809		0.730	0.06 (4)		
	(4)式	1.27	0.67 (0.32)	1.00 1.27	CS, WS CB, WCB	0.702		0.634	0.27 (1)		
1	(5)式	1.00	(1.07)	1.00	CB, CS, WB, WS	1.072	0.66	0.672	0.70 (0)		
		1.10	(0.67)	1.10	CB, WB	0.741		0.464	0.44 (2)		
		1.20	(0.59)	1.20	WB	0.713		0.447	0.39 (2)		
	(4)式	1.10	0.40 (0.67)	1.00 1.10	CS, WS CB, WB	0.846		0.530	0.44 (2)		
(4)式	1.20	0.47 (0.59)	1.00 1.20	CB, CS, WS WB	0.858		0.538	0.39 (2)			

CB : 曲げ柱 CS : せん断柱 CSS : 極端性柱
 CWB : 曲げ軸壁付柱 CWS : せん断軸壁付柱 CWSS : 極端性軸壁付柱
 WCB : 曲げ柱型付壁 WCS : せん断柱型付壁
 WB : 曲げ壁 WS : せん断壁

※ C指標の()内は, "CT" と "CTu" の計算に使用するC指標値を示す。

※ (N_r-N)欄の()内は, "残存軸耐力<軸力"の条件に該当する部材数を示す。
 また, このような柱が存在する欄のI_sやC_{Tu}-SDは参考値であり, 第2種構造要素の検討なしには採用出来ません。

補強後